

～長浜のまちをローズウィンドウ  
であふれさせたい～

日本ローズウィンドウ協会 認定講師  
かわせ ゆうこ  
**河瀬 有子**さん (神照町)



撮影場所：神照まちづくりセンター

光を浴びて美しく輝くローズウィンドウ。元は教会を美しく飾った「バラ窓」というガラスでできた円形のスタンドグラスを指す言葉で、その美しさを身近で鑑賞できるように紙製にし、ヨーロッパで発案されました。幾重にも重ねた薄紙で作るペーパーアートは光を色とりどりに変化させ、人の心を惹きつけ、癒しを感じさせてくれます。河瀬さんは、日本ローズウィンドウ協会の認定講師として、日々精力的に教室を開催しています。

ローズウィンドウとの出会いは6年前。父を亡くし落ち込んでいるのを息子が気遣い、外に連れ出してくれた時に、ローズウィンドウの第一人者中山真季さんの個展の前を通りかかり、その美しさに衝撃を受けました。調べてみる

と、中山さんは長浜市出身。この出会いを運命と感じて、すぐに弟子入りし、その後講師としての道を進みます。

ローズウィンドウの魅力は、眺める楽しさや癒しはもちろん、集中して制作することで頭が無くなり、精神のリラクックスに繋がる事を多くの人に知ってもらおうと試行錯誤。SNSを通じて体験講座などを発信し、一つの作品を完成させる達成感を感じてもらおうことで、徐々にリピーターを増やし、定期の講座を開催するようになりました。

一方で、プロの照明デザイナーや音楽家とコラボした展示会「ローズウィンドウ三重奏」を企画。ヨーロッパで生まれ日本でアートとして進化した作品を音楽と照明で表現し、大きな反響を呼びま

した。手先を使い細かな作業を行うことを活用し、認知症予防プログラムとしての講座など、新たな取組みも手掛けています。

そんな河瀬さんの熱い思いに賛同する多くの仲間が集まり、福祉施設などに作品を寄付する「ローズウィンドウで笑顔の花を咲かせ隊プロジェクト」活動にもつながりました。講師仲間や生徒の皆さんを「同志」と呼び大切にしている河瀬さん。同志と一緒にだからこそできたことも多いといいます。「挑戦と努力の先に皆さんの笑顔があり、それに感謝する気持ちが、また次への力に繋がっています」と語る河瀬さんの眼差しは、ローズウィンドウのように輝き、まっすぐ未来を見えています。

今月の表紙  
12月は「さざなみタウンオーブニング祭」と題して様々なイベントが行われます。ぜひお越しください。詳しくはホームページをご覧ください。(11月12日(火)撮影)



Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。



荻下 侑大  
ちゃん(平成30年10月生まれ)  
(小堀町)

元気いっぱいになってくれたらうれしいです。そして、笑顔を送りまいて周りを明るくできる人に成長してください。



西田 侑生  
ちゃん(平成30年10月生まれ)  
(田村町)

生まれてきてくれて有りがとう！侑生がいてくれるからお父さんもお母さんも幸せな日々だよ。これから元気いっぱい、笑顔いっぱい、大きくなってね。

まちの人口	令和元年11月1日現在	人口118,007人	男57,890人	女60,117人	世帯数46,284世帯
	令和元年10月中の異動	転入247人	転出291人	出生65人	死亡113人 婚姻41件